



- 本に負担をかけない取り扱い方
- 図書館お勧め本  
「Anatomie der Japaner」と貴重書室特別公開について
- 図書館からのお知らせ  
学生スタッフの紹介 / 不定期連載「ガジェットダイスキ。(仮)」

## 本に負担をかけない取り扱い方

普段、皆さんが勉強等に使っている図書館の本ですが、その中には、もう出版されていない大事な本も多くあり、本が破損・汚損しても買いなおすことができない場合もあります。

皆で使う図書館の本を、長持ちさせるために、今回は、本に負担をかけない取り扱い方をいくつかお知らせします！

### ① キツキツの書棚から上手に取り出すには

書棚にぎっちり本が入っていると、つい背表紙の一番上に指をかけたくなりますが、この部分は脆いので、すぐに壊れてしまいます。

そんな時は以下のとおりにすると本に負担をかけずカンタンに取り出せます。ぜひ、この方法で取り出してください！



① 背の上部を押す。



② 飛び出た部分をつまみ、手前に少し引き出す。



③ 本をしっかり持って引き出す。



### ② 伏せ！は苦手です！

本を開いたまま、伏せてしまうのは、ついついしがちですが、本の背表紙に負担がかかり、ページが外れやすくなります。気になるページにはしおりを挟めましょう。現在、カウンターでブックマーク(しおり)をお配りしていますので、ぜひご利用ください。

なお、返却本に、領収書やメモなど大事なものが挟まっていることがよくあります。大事なものはしおり代わりにしないよう、ご注意ください！

### ③ 飲み物・食べ物も、苦手なんです。

気をつけていても、ちょっとしたはずみで飲み物や食べ物をこぼして大きなしみになり、本を弁償することになってしまう例が増えています。本を読む時だけではなく、かばんに本を入れるときも、飲み物・食べ物からはできるだけ離しておく安全ですよ。

### ■ 万が一のこんな時は！？

#### ① 本のページがとれた！ 破れた！！

セロテープやのりなどを使ってご自分で直さないで、そのままお持ちください。

#### ② 本を汚してしまった！ 濡らしてしまった！！

修復可能な場合がありますので、できるだけ早く、そのままカウンターにお持ちください。特に水濡れの場合は、ご自分で乾かさず、早急にお持ちください。

まずはカウンターへお持ちください！



※どちらの場合も、損傷の程度によっては、弁償していただくことがあります。

# 図書館お勧め本 「Anatomie der Japaner」

今回ご紹介する図書館の本は、「Anatomie der Japaner」です。え？外国語？ そうです、ドイツ語の本です。でも、著者は日本人です。生まれたのは日本だけど、外国籍という今風な方でもありません。明治時代より少し前に生まれ、昭和20年に亡くなった足立文太郎博士が書いた本です。

ドイツ語？うーんちょっと読めないなあという方も多いのでしょうか。近年の医学は殆どが英語ですが、割と最近まで日本の医学教育ではドイツ語が多用され、明治時代には、多くの医師がドイツに留学し、当時の最先端の医学を学びました。足立博士も、1899年から1904年の間、ストラスブルグ大学に留学したそうです。

帰国後は京都帝国大学（現在の京都大学）で解剖学の研究に没頭し、日本人特有の体質についての研究成果を発表し、ついには軟部人類学の創設者と言われるようになりました。

軟部人類学とは、人体の軟部組織である動脈・静脈・筋肉などを研究する分野で、足立博士は、日本人の動脈・静脈の研究や、体臭や耳垢についての研究もされていました。

「Anatomie der Japaner」は「Das Arteriensystem der Japaner（日本人の動脈系）」と「Das Venensystem der Japaner（日本人の静脈系）」の2巻ものです。

これらの本は足立博士が、作家の井上靖の義理の父であることから、市内の井上靖記念館からご寄贈いただいたものです。

足立博士の研究成果は、現在でも生きています。「Adachi分類」による動脈図、静脈図をご覧になったことのない医療従事者はいないのではないのでしょうか。

今月、この「Anatomie der Japaner」をはじめ、日本の医学史で貴重な解剖学の資料を展示して貴重書室を公開します。普段は入ることのできない貴重書室で、医学の歩みに触れてみるのはいかがでしょうか。

なお、「Anatomie der Japaner」については、本誌の17号（2013年7月）で、平義樹先生にご解説いただきました。是非、そちらも読んでみてください！



**貴重書室特別公開 11月13日～30日**

## 図書館からのお知らせ

学生スタッフ紹介第二弾です！

アルバイトを始めて2年目になるので頼もしいと思ってもらえるよう、努力します！



★オススメの1冊  
水野敬也 ほか  
『人生はニヤンとかなる！』



何でもは知りませんが、知ってることは何でもお答えするので、ぜひカウンターで見かけたら何でも聞いてください。

★好きな作家  
武者小路実篤

『武者小路実篤集』  
(現代日本文学大系:33)  
図・2F開架/一般教養  
918.6/G34



今回のオススメ  
折れない  
シャーペン

皆さんは机に向かって勉強する時、どんな筆記具を使っていますか？ボールペンだと、インクを空っぽにした本数で「やった感」が目に見えて、さらにやる気を出せたりしますよね。（受験勉強で実行してました！）

図書館の閲覧席を覗いてみると、鉛筆派・シャーペン派・ボールペン派に分かれているようです。

シャーペンは、鉛筆のように削らなくてもずっと細い字が書けるのがメリットですが、すぐに芯がボキボキ折れてしまってイライラしますよね。（筆圧が高いせい!?)

そこで、数年前から出始めた”折れないシャーペン”の定番です。今は数社から販売されていてそれぞれ機構が違うのですが、本当に芯が折れなくて、とっても快適なんです！書こうとした瞬間に折れてイラッとしたり集中力が切れることもないし、むやみにカチカチして周りの人に迷惑をかけることもないし、折れた芯をうっかり手や肘で擦ってしまっ”うあああああ！orz”となることもありません！普通のものより少しだけ割高ですが、それだけの価値は絶対にありますよ。まだ使ったことのない方は、ぜひ試してみてくださいね。

個人的なお気に入り、ゼブラのデルガードです！